

令和3年度 第56回群馬県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼 第64回関東高等学校サッカー大会群馬県予選 要項

- 1 主催 群馬県教育委員会 群馬県高等学校体育連盟 (公社)群馬県サッカー協会
- 2 期 日 令和3年5月2日(日)・4日(火祝)・8日(土)・14日(金)・15日(土)・16日(日)
- 3 会 場 群馬県立敷島公園サッカー・ラグビー場 他
- 4 競技規定 (1) 2021年度日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
(2) 選手の交替は、試合開始前に届け出た交替要員11名中5名まで交替することができる。
(3) 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。ただし、退場の理由によっては、今大会の以後の試合に出場できない場合がある。
(4) ベンチに入ることができる人数は、選手11名(交代要員)および役員5名計16名を最大とする。
(5) 本大会で警告を2回うけた者は、次の1試合に出場できない。
(6) 落雷時には、別紙「落雷事故防止対策についての対応」による。
- 5 新型コロナウイルス感染症対策
群馬県高体連作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、群馬県高体連サッカー専門部作成の「新型コロナウイルス感染症に係る大会実施ガイドライン」や群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じる。
- 6 競技方法 (1) トーナメント方式による。
(2) 試合時間は80分(インターバル10分)とし、勝敗の決しない時はペナルティーキック方式により次回に進出するチームを決定する。ただし、ベスト16(ベスト8決定戦)から、20分の延長を行い、なお決しない時はペナルティーキック方式で勝敗を決定する。
- 7 参加資格 (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2) 選手は群馬県高体連に加盟している高等学校生徒であること。
(3) 2021年度(財)日本サッカー協会及び群馬県サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(4) 年齢は平成14年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(5) チームの構成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(7) ア 転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、群馬県高体連会長の許可があればこの限りでない。
イ 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
ウ 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
追記事項
ウの移籍とは登録変更(抹消→新規登録)を指す。適用例を以下に示す。
例1. 当該年度内に登録変更を完了した場合
→登録変更後6ヶ月間は試合に出場できない。ただし、年度を越えて適用しない。
例2. 当該年度末に継続登録をせず、登録を抹消した場合
→次年度に新規登録完了後すぐに出場できる。
(8) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
(9) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
(10) 試合開始80分前に、マッチコーディネーションミーティングを行う(準決勝より)。
(11) 参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。
- 8 出場制限 (1) 1校1チームとする。
(2) チームは、監督1名、選手22名以内とし、当日メンバー表記載の選手とする。なお、引率責任者は校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。監督は校長が認める指導者とし、それが「部活動指導員」の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- 9 大会中止条件 (1) 群馬県高体連作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドラインの「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的な考え方」に示されている開催条件が整わない場合
(2) 群馬県内の感染状況を鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。
(3) その他、群馬県教育委員会又は群馬県高体連より大会の中止指示等があった場合。

10 組み合わせ 令和3年4月16日(金) 群馬県公社総合ビル 多目的ホール

- 11 備考 (1) ユニフォームについて
- ①仕様については日本協会制定の「ユニフォーム規定」による。
 - ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ③正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑤前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (2) 本大会の上位2チームは、6月5日(土)～6月7日(月)に山梨県で開催される第64回関東高等学校サッカー大会の出場権が得られる。
- (3) 令和2年度全国高等学校サッカー選手権群馬県大会の上位16チームはポジションシードされる。
- (4) 本大会における上位16チームは、令和3年度全国高校総体県予選でシードされる。なお、プリンスリーグに参加する前橋育英高校(第1シード)、桐生第一高校(第2シード)と上位2チームはベスト4シードとし、次の上位4チームはベスト8シードとする(ベスト16から出場)。
- (5) 試合球：白黒ボール(マルチボールシステムが望ましい)。**【準決勝～：ミカサ】**